

令和3年度 大垣市文化事業団事業報告

自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

大垣市文化事業団は、市の文化創造に寄与することをめざし、魅力ある事業の実施や適切な施設管理に努めている。令和3年度は、令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止や延期を余儀なくされる事業が多いなか、継続して①優れた文化芸術の提供、②地域における文化芸術の継承と活動支援、③文化芸術人財の育成を活動の柱として事業を推進した。

自主事業は、新規3事業を含む7事業を開催した。新規文芸事業「水の都おおがき短編小説コンクール」では、大垣市出身の作家・中村航を審査委員長として、インターネットで作品を公募し、電子版作品集を発行した。また、新たな試みとして「大垣の魅力」を再発見するための2つの連続講座型ワークショップを開催した。特に大垣を題材とした「短編オーディオドラマワークショップ」では、脚本の制作から、収録までを行い、YouTubeに作品を公開した。開催に際しては、新型コロナウイルス感染症対策として、Zoomによるリモート講座も取り入れた。令和2年度に全事業が中止となった「美術ワークショップ」は、感染症対策のため、実施を延期したものの、4事業すべてを開催し、うち3事業では、ワークショップ開催後に、作品展示や、記録展示などを取り入れ、発表の場を設けた。

受託事業の「大垣音楽祭」は、市民団体の部会期中にて、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止を余儀なくされた。また、「大垣市芸術祭」でも多くの部門が中止となった。美術展、文芸祭の2公募事業では、作品は募集・審査のみとし、表彰式や作品展示の開催は見送りとなった。

指定管理事業の舞台芸術分野では、トップレベルの公演に触れる「プライムコンサート」や、未就学児から大人まで家族で楽しむ「ファミリーコンサート」、障がいのある方も参加できる「バリアフリーコンサート」、音楽と身体表現を通して創造性を育むワークショップなど多彩な事業を展開した。ホール公演は、すべての事業が定員50%制限のなかで、感染症対策を徹底し開催した。

美術分野では、夏休み企画展として錯視をテーマに「アリス・イン・サイエンスワールド」を開催した。体験型展覧会ながら、感染症対策のため、非接触型展示としたが、3Dシアターなどが好評であった。なお、感染拡大のため、会期中での閉幕となった。ワークショップ事業では、自主事業同様に、ワークショップだけでなく、参加者による作品展を開催した。

科学分野では、「おもしろ科学教室」や、「市民天体教室」などの継続事業を、感染症対策を徹底して実施した。また、新たに、「科学大好きセミナー」として、地域の企業や、様々な専門家を講師に招いた教室を開催した。こどもサイエンスプラザをはじめとした学習館科学施設は、感染拡大防止のための利用停止のほか、令和3年12月から令和4年3月まで空調工事のため、利用停止を余儀なくされた。

以上のとおり、全体的に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、令和2年度は多くの事業が中止を余儀なくされたのに対し、令和3年度は、延期や人数制限など、様々な感染症対策を講じて、事業を実施し、コロナ禍においても、心豊かに文化芸術に触れる機会を提供した。

施設管理では、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、ガイドラインに基づき適切な運営を行った。

令和3年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業実施状況一覧

(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業				実施状況	
自主事業	創造都市	文芸	① 中村航・水の都おおがき短編小説コンクール	△	
		その他	② 創造都市WS①郷土おおがきを題材にオーディオドラマをつくろう (全8回)	○	
			③ 創造都市WS②スイトピアセンターをプロデュースしよう (全9回)	○	
	社会包摂	美術	① 美術WS①発酵の世界をイメージしよう (全2回)	○	
			② 美術WS②みんなで巨大こいのぼり作り	○	
			③ 美術WS③潤い成分たっぷりモチモチ石鹸をつくろう	○	
			④ 美術WS④宝石みたいなキラキラ石けんをつくろう	○	
	受託事業	都 創造都市	音楽	① 2021大垣音楽祭 (14公演、うち市民団体13公演)	△
		社会包摂	美術	① ポスター展2021～ひと～	○
		② 大垣市芸術祭 (美術展、文芸祭ほか6事業)		△	
公益目的事業	指定管理事業	創造都市	舞台	① 三浦瑠麗・講演会	○
			音楽	② プライムコンサート①「岡本誠司&反田恭平デュオリサイタル」	○
				③ プライムコンサート②「北川千紗ヴァイオリンコンサート」	○
		科学	④ プラネタライブ (全3回)	△	
			⑤ 市民天体教室	△	
			⑥ おもしろ科学教室 (全15回)	△	
			⑦ 水のパビリオン活性化事業	△	
			⑧ コスモドーム・サイエンスプラザ常設展	△	
			⑨ 科学大好きセミナー (全5回)	△	
	社会包摂	音楽	① しまじろうファミリーコンサート	○	
			② バリアフリーコンサート「みんなが楽しめるコンサート」	○	
			③ 音楽WS①親子でDance&Sing	○	
			④ 音楽WS②うたに親しむ うたを見つける うたを楽しむ	○	
		美術	⑤ 夏休み企画展「アリス・イン・サイエンスワールド」	△	
			⑥ ねんど岡田ひとみの「ねんどでミニチュアクッキング」	○	
	学習館科学施設運営事業			① こどもサイエンスプラザの運営事業	
				② コスモドームの運営事業	
		③ 水のパビリオン運営事業			
公益目的事業の貸館事業				《実施状況に関する注記》 ○：実施。ただし、当初予定日を延期、人数制限を行った場合あり。 △：実施。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業計画のうち一部の事業を中止または、期間繰上終了した場合。	
収益目的事業	(収1) 公益目的事業以外の貸館事業				
	(収2) 専用駐車場の管理運営事業				
	(他1) スイトピア友の会事業				

令和3年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業別実施報告書

<公益目的事業>

(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業

1. 自主事業

1-1. 創造都市事業

	事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
文芸事業	水の都おおがき短編小説コンクール ◇①小説ワークショップ《開催中止》 ②中村航講演会・表彰式 ◇②令和4年2月26日(土) ◇②スイトピアセンター かがやき活動室 ◇応募者数：29人 ②参加者数：35人	大垣出身の作家・中村航を審査員長に招き、水の都「大垣」を舞台とする、あるいは大垣ゆかりのエピソードや事物が登場する4,000字以内の短編小説を、プロ・アマ、年齢・性別・国籍・居住地を問わず公募した。入賞作品は電子版作品集としてホームページで公開し、広く市民の閲覧に供した。また表彰式および「小説のこと 大垣のこと」と題する講演会を開催した。 (作品募集期間：7月1日(木)～8月31日(火))
その他事業	文化とまちづくりサミット 郷土おおがきを題材にオーディオドラマをつくろう ◇令和3年12月4日(土) ～令和4年3月6日(日)《全8回》 ◇スイトピアセンター 会議室4ほか ◇参加者数 延69人	脚本の書き方、題材の見つけ方、大垣の歴史と文化について、参加者同士の作品に対する意見交流、朗読の練習などを行い、最終的に、参加者脚本の中から、アンケートで4作品を選び、参加者がキャストとなってオーディオドラマの収録までを実施した。メールやオンラインでのデータ共有を多用し、感染拡大期には、急遽Zoomと現地開催の併催による講座を実施するなど、参加機会の拡大を図って全8回の講座を予定通り実施した。収録作品は後日Youtubeで公開した。
その他事業	文化とまちづくりサミット スイトピアセンターをプロデュースしよう ◇令和3年6月18日(金) ～令和4年1月23日(日)《全9回》 ◇スイトピアセンター 学習室3-2、会議室4 ◇参加者数 延26人	文化芸術を活用したまちづくりについて学び、参加者間で交流しながらスイトピアセンターの活性化についての意見交流等を実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、全9回のうち第1回・第2回同日に連続開催とし、第7～9回は当初予定から日程延期したうえでの開催とした。コロナ禍での長期開催の講座のため、参加者にとっては、継続的参加に困難が生じた。しかしながら、スイトピアセンターに足を運んだことのない方の参加があったりと、まちの歴史の再発見の機会になるなど、人と人とのつながりなどを作る機会となった。

1-2. 社会包摂業

	事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
美術事業	美術ワークショップ① 「発酵の世界をイメージしよう」 ◇令和3年11月20日(土)・23日(火祝) ◇スイトピアセンター 創作実習室 ◇参加者数 延63人 記録展示来場数 1,547人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夏休み開催予定から延期して実施(当初予定：8月23日)。講師は発酵デザイナー小倉ヒラク。子どもたちに発酵をもたらす微生物(菌)について説明をした後、実際に菌の採取と培養を行い、見えない菌がどんな働きをしているのかイメージした。また、発酵食品の味噌を仕込む体験を行うなど、2日間の活動について記録展示を行った。 (記録展示：11月25日～12月5日、9日間)
美術事業	美術ワークショップ②油絵具で遊ぼう！ 「みんなで巨大こいのぼり作り」 ◇令和3年5月5日(水祝) ◇スイトピアセンター 会議室2 ◇参加者数 延47人(2回) 記録展示来場数 1,724人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講師は東京からオンラインによる指導を行い、会場での指導補助を職員が担当した。デカルコマニー(合わせ絵)とモノタイプ(版画)という美術技法を用いて、こどもの日の記念になる作品づくりを楽しむ様子が見られた。講師と参加者の合作による巨大こいのぼりの展示を行った。 (記録展示：5月7日～23日、15日間)
美術事業	美術ワークショップ③アートな手作りせっけん 「潤い成分たっぷりモチモチ石鹸を作ろう」 ◇令和3年7月3日(土) ◇スイトピアセンター 料理実習室 ◇参加者数 8人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を延期して開催(当初予定：6月5日)。感染症対策の基本となる手洗いの時間を心地よくするため、大垣が生産量日本一を誇るカモミール(カミツレ)を混ぜたオリジナル石鹸を手作りした。オイルに苛性ソーダを混ぜ、反応熱のみで1ヵ月程度かけて完成させるため、型入れの工程までを実施した。

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
美術事業	美術ワークショップ④アートな手作りせっけん 「宝石みたいなキラキラ石けんをつくろう」 ◇令和3年7月4日（日） ◇スイトピアセンター 料理実習室 ◇参加者数 延40人（2回） 記録展示来場数 2,647人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定を延期して開催（当初予定：6月6日）。感染症対策の基本となる手洗いの時間を楽しくするため、親子で宝石を模した石けんを手作りした。完成作品は、制作イメージ図とともにキラキラ石けんギャラリーとして展示を行った。 （記録展示：7月5日～18日、12日間）
	事業経費	684,378円
	諸経費	4,147,752円（人件費）
	総費用額	4,832,130円
	事業収益額	92,000円
	総収入額	121,766円（基本財産運用益・雑収益含）

2. 受託事業

2-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	2021大垣音楽祭 ◇令和3年4月4日(日)～5月30日(日) 《一部開催中止》 ◇スイトピアセンター 音楽堂・文化ホール ◇入場者数 776人	合唱や吹奏楽など地元で活躍する演奏家や音楽団体が演奏会を開催するとともに、プロとの共演などを通して、大垣市の芸術文化の振興を図るもの。 市民団体による13公演および、プロと地元演奏家の共演するスプリングコンサート1公演の計14公演を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スプリングコンサートを含む5月開催予定であった8公演(※印)が開催中止となった(うち1公演、音楽教室アマービレのみ無観客開催)。 4月4日(日) 大垣少年少女合唱団 4月4日(日) NPO法人リトミックGifu 4月11日(日) 大垣プラスカンパニー 4月18日(日) 大垣市吹奏楽団 4月24日(土) 合唱団OMC 4月25日(日) 大垣グリークラブ 5月1日(土) The ACT ピアノデュオ ※ 5月2日(日) 音楽教室アマービレ ※ 5月3日(月・祝) 音楽の風にとって(出演2団体) ※ 5月5日(水・祝) 大垣ギターマンドリンクラブ ※ 5月9日(日) いつも青春コンサート(出演3団体) ※ 5月16日(日) シンガーズクラブ ミューズ ※ 5月23日(日) スプリングコンサート ※ 6月19日(土)に延期後、中止。 5月30日(日) c o r o a l b a ※
	2022大垣音楽祭 準備	令和4年度に開催する「2022大垣音楽祭」の準備

2-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
美術事業	日本国際ポスター美術館所蔵 ポスター展2021～ひと～ ◇令和3年4月24日(土)～6月13日(日) ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 2,074人	日本国際ポスター美術館(大垣市)の協力を得て、所蔵品の中からテーマを決め、その一部を展示し紹介するもの。オリンピックイヤーを記念して、1964年東京オリンピックのポスターも展示した。 鑑賞体験をもとに大好きなひとを思いうかべて描いてみるコーナーを設置し、集まったイラストも随時展示した。
芸術祭事業	大垣市芸術祭 ◇令和3年10月16日(土) ～11月28日(日) 《一部開催中止》 ◇スイトピアセンター 文化ホール、音楽堂 ◇入場者数 334人(洋楽、洋舞2部門) (美術展出品数 8,923人) (文芸祭出品数 1,813点)	各種市民団体の成果発表の場として開催するもの。洋楽、邦楽・邦舞、洋舞、拓本展、名石展、市民茶会の6つの市民団体事業と、市美術展と市文芸祭の2つの公募展を予定した。新型コロナウイルス感染拡大のため、4部門を中止とし、洋楽、洋舞および2つの公募展を開催した。 第66回洋楽 10月24日(日) 第66回洋舞 10月17日(日) 第70回大垣市美術展 募集・審査のみ。展示中止。 幼少年の部 絵画は募集なし 第60回大垣市文芸祭 募集・審査のみ。作品集刊行。
事業経費		6,661,978円
諸経費		9,678,087円(人件費)
総費用額		16,340,065円
総収入額		16,213,700円(雑収益を含む)

3. 指定管理事業

3-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
舞台事業	文化講演会・三浦瑠麗 「世界はどこへ向かおうとしているのか」 ◇公演：令和3年11月13日（土） ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 252人（定員279人）	国際政治学者・三浦瑠麗による講演会を実施。「世界はどこへ向かおうとしているのか」をテーマに、講師自身が作成した資料のプロジェクター投影を交えて、講演。時勢をふまえ、新型コロナウイルス感染症に関する解説も行われた。当日配布したQRコード形式のアンケートでは51名の回答があり、そのうち講演の内容に対しては86.3%が「良かった」、11.8%が「普通」と答え、価格設定に対しては70.6%が「適当」、25.5%が「安い」と答えるなど、概ね評判の良い講演会となった。
	音楽事業	プライムコンサート2021 「岡本誠司&反田恭平デュオリサイタル」 ◇令和3年12月16日（木） ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 282人（定員284人）
音楽事業	プライムコンサート2021 「北川千紗ヴァイオリンコンサート」 ◇令和4年1月7日（金） ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 203人（定員278人）	中学校までを大垣市で過ごし、市文化奨励賞及び市民大賞を受賞した北川千紗と大垣市出身で在住の五島史誉によるプライムコンサートを開催した。北川千紗については、上記賞受賞後、大垣市での大きなコンサート開催実績がなく、今回が初の公演となった。コロナ禍にあり、積極的な広報活動を行えない期間の公演であったが、チケットの売り上げは80%を超えた。大垣市出身で、多くの国内外コンクールで受賞し、活躍の幅を広げようとする若手アーティストの公演に対する関心の高さが伺えた。
科学事業	プラネタライブ（全3回） ◇スイトピアセンター コスモドーム ◇入場者数 延83人（定員各70人） ①お月見コンサート ◇令和3年9月18日（土）《開催中止》 ②ハロウィンコンサート ◇令和3年10月30日（土） ③秋の星空コンサート ◇令和3年11月13日（土）	プラネタリウムを有効活用し、宇宙科学を身近に楽しめる事業を開催した。3公演を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1公演を中止とし、2公演を開催した。 ①出演：小宮山薫&森江以子。ギターとキーボードによるアニメソング、月にちなんだ名曲を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。 ②出演：カテリーナ&田中美佐子。ウクライナの民族楽器バンドウーラとボーカル、満天の星空の演出による楽しいコンサートとなり、コロナ禍の一時の癒しとして、来場者に好評を得た。 ③出演：JerryfishMoon with カノン（花音）。二人組のジェリーフィッシュムーンとカノンの3人による星空コンサートで、アニメソングや自作曲の演奏などを星空や花火の映像と共に来場者に届ける楽しい時間となった。
	市民天体教室 （夜） 6・7・10・11月 計4回実施 （昼） 4月～11月 計24回実施 ◇子どもサイエンスプラザ4階天体観測室 ◇参加者数 延552人	新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止や、学習館空調工事（12～3月）のため、4～11月までの期間で実施した。 （夜）天文の普及と星空の美しさを理解してもらうため、コスモドームで星空解説と、天体望遠鏡を使用しての天体観測を行い、好評を得た。年8回計画のところ、新型コロナウイルス感染拡大のため、4回のみ開催した。 （昼）太陽および金星の変化を理解する機会として実施し、太陽活動が活発になり始めたため、黒点及びプロミネンスの観察などが好評を得た。
	おもしろ科学教室 ◇年8回（令和3年7月～11月 日曜日） ◇子どもサイエンスプラザ2階工作室・実験室、創作実習室 ◇参加者数 延154人（定員各20人）	科学的な原理について実験などを通して学び、科学教育の増進の一環とした。毎回、モデル等を使っての演示実験等を行ったり、製作物のしくみを分かりやすく解説したりすることで、参加者の意欲を高め、科学の見方・考え方の向上につながった。 特に、自動車ロボットやUFO（ドローン）などの教室を開催し、非常に好評であった。

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所	事業内容
<p>水のパビリオン活性化事業</p> <p>◇令和3年4月1日～令和4年3月31日 利用停止 (8/20～9/30・12/1～3/17)</p> <p>◇スイトピアセンター 水のパビリオン</p> <p>◇入場者数 45,450人</p>	<p>市民環境保護団体による西美濃の自然、生物、植物に関する展示を行うことにより、ふるさとの自然、生物に興味関心を持っていただく機会とした。新型コロナウイルス感染拡大と空調機器の修繕のため利用停止期間があったものの、珍しい水棲昆虫、水辺の鳥や、ふるりの魚など、来館者に興味を持って鑑賞して貰うことができた。</p>
<p>コスモドームギャラリー</p> <p>・ どもサイエンスプラザ常設展</p> <p>◇令和3年4月1日～令和4年3月31日 利用停止 (8/20～9/30・12/1～3/17)</p> <p>◇コスモドームホワイエ</p> <p>・ どもサイエンスプラザ1階</p> <p>◇入場者数 56,566人</p>	<p>(コスモドームギャラリー) 天文教育普及を意図し、ロケットや探査機のパネル展示、折々の新しい天文情報や専門性の高い写真展を開催した。特別展として、季節ごとに「春の星空の星座たち」「夏の星空の星座たち」「秋の星空の星座たち」「NASA太陽系展」を開催した。(どもサイエンスプラザ) 利用可能期間を通じて、来館者に蒸気機関車C11型155号機を見ていただいた。愛好者だけでなく、小さな子どもたちも興味をもって見入る姿が多く見られた。また、10月までの月2回のSL公開日には、運転席の公開などを実施した。</p>
<p>科学大好きセミナー (全5回)</p> <p>◇スイトピアセンター 創作実習室</p> <p>◇参加者数 延66人</p> <p>①気象教室</p> <p>◇令和3年9月25日(土) 《開催中止》</p> <p>②地震教室</p> <p>◇令和3年10月24日(日)</p> <p>③極低温の世界</p> <p>◇令和3年7月25日(日)</p> <p>④君も科学捜査員</p> <p>◇令和3年7月28日(水)</p> <p>⑤風力発電</p> <p>◇令和3年7月30日(金) 《開催中止》</p>	<p>市内企業の協力を得て、未来を担う子どもたちに多彩な学習体験の機会を提供するもの。全5回を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大のため、2回が中止となった。</p> <p>①気象予報士 橋本祐佳 (NHKまるっと!ぎふ出演) による気象教室を予定したが、都合により中止。</p> <p>②地震予知連絡会会長 山岡耕春教授 (名古屋大学大学院) による「地震はどのように起きる? どのように揺れる?」と題した講演とワークショップを開催した。</p> <p>③大洋化学工業株式会社・株式会社大合商会による「極低温の世界を体験しよう」。液体窒素で、花が凍る実験をしたり、雲ができる現象を体験した。</p> <p>④イビデンエンジニアリング株式会社による「犯人を見つける」教室。指紋の検出や、土砂粒、血液反応 (模擬) などから、犯人を特定する体験をした。</p> <p>⑤太平洋工業株式会社によるペットボトルを使った「風力発電」教室を予定したが、都合により中止。</p>

3-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
音楽事業	ファミリーコンサート 「しまじろうファミリーコンサート」 ◇令和4年3月5日(土) 3回公演 ◇スイトピアセンター 文化ホール ◇入場者数 延961人(内3歳未満231人) (客席定員各282人、3歳未満膝上を除く)	未就学児から入場できる、親子で楽しめるコンサート。ベネッセコーポレーション通信教育講座のキャラクター「しまじろう」によるコンサートとし、公演の中に教育的要素を含ませた。 小さなお子様を対象とする事業であるため、声を出さずに応援できるグッズを配布したり、チャイルドシートの都度消毒など、新型コロナウイルス感染症対策をより徹底した。
	バリアフリーコンサート 「みんなが楽しめるコンサート」 ◇令和3年11月3日(水・祝) ◇スイトピアセンター スイトピアホール ◇入場者数 54人(定員60人)	岐阜県を拠点に活動する「アンサンブルさくら」によるバリアフリーコンサート。 段差のないスイトピアホールを会場とし、聴覚障がいのお客さんもコンサートの雰囲気を楽しめるよう、MCの手話通訳ボランティアのほか、視覚支援キャプチャーを大型テレビモニターに映して実施した。当日入場者の約3割が未就学児または各種手帳保持者であった。
	創造性を育む「音楽と身体表現ワークショップ」 「親子でDance&Sing」 ◇令和3年7月24日(土) 2回実施 ◇スイトピアセンター スイトピアホール ◇参加者数 延42人	「音楽と身体表現」をテーマに、大垣市出身のパフォーマーの小倉 笑と、ダンサー・振付家の康本雅子を招き、親子を対象とするワークショップを開催した。親子でペアを組み、ダンボールを叩いて音を鳴らす講師についていく運動に始まり、親の腕や足の間を子どもが潜ったり、親数人が作ったトンネルを順番に通ったり、親子でワルツのように踊ったり、手に乗せたティッシュを落とさないようバランスよく動いたり、様々な体操が行われた。
	創造性を育む「音楽と身体表現ワークショップ」 「うたに親しむ うたをみつめる うたを楽しむ」 ◇令和3年8月1日(日) ◇スイトピアセンター スイトピアホール ◇参加者数 15人	「音楽と身体表現」をテーマに、大垣市出身のミュージカル女優小林ゆず子(こんにゃく座)、及び同座女優の岡原真弓とピアニストの榎原紀保子を招き、親子を対象とするワークショップを開催した。序盤は講師と参加者それぞれの自己紹介を通して、お互いの呼んでほしいニックネームや好きなものを共有、中盤は体を使った表現として持参したタオルを使った体操を実施。最後は「空気のうた」というこんにゃく座制作の歌を皆で練習し、一人一人が自分の役を演じた。
	夏休み企画展 「アリス・イン・サイエンスワールド」 ◇令和3年7月10日(土) ～8月19日(木)《会期中終了》 ◇スイトピアセンター アートギャラリー ◇入場者数 39,009人 (有料エリア:4,601人)	不思議の国のアリスをテーマに、人間の目の錯覚を利用したトリックなどで想像力をかき立て、子どもから大人まで「なぜ?」と「不思議に思う体験」を通して理科・自然科学への関心を高める展覧会として開催した。未就学児～小学生の親子連れを中心に、主に3Dシアター・錯視・プロジェクションマッピングが好評だった。また、若年層においても、スマートフォンで撮影すると絵が変化する特殊な錯視ゾーンが人気となった。 本事業は令和2年度からの延期事業であり、8月30日(月)までの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会期中途中で終了となった。
美術事業	ねんど岡田ひとみの 「ねんどでミニチュアクッキング」 ◇令和3年10月2日(土)、3日(日) スイトピアセンター スイトピアホール ◇参加者数 延200人(4回) 作品展来場数 2,361人	立体作品の造形を通して、美術感覚や空間認識感覚を養うことを目的とし、子どもに親しみのある粘土を用いたワークショップを実施。 講師にはNHK Eテレに「おねんどお姉さん」として出演する岡田ひとみを招いた。1日目と2日目でメニューを変更し、参加者それぞれが工夫して個性があり、カラフルな作品を作った。 完成した作品を展示する作品展を、学習館1階ラウンジで開催した。(作品展:10月4日(月)～17日(日)、12日間)
事業経費		27,108,718円(事業共通経費を含む)
諸経費		33,182,014円(人件費)
総費用額		60,290,732円
事業収益額		59,557,932円(雑収益、指定管理料を含む)
助成金・補助金・協賛金		2,064,289円
総収入額		61,622,221円

4. 学習館科学施設運営事業

事業名	事業内容
こどもサイエンスプラザの運営事業 ◇入館者数 40,510人	学習館科学施設3施設「こどもサイエンスプラザ」、「コスモドーム(プラネタリウム)」、「水のパビリオン」の管理運営事業。 いずれも、空調工事のため、令和3年12月1日～令和4年3月17日まで利用停止。
コスモドームの運営事業 ◇入場者数 5,352人	
水のパビリオンの運営事業 ◇入場者数 45,450人	
総費用額	28,235,174円
総収入額	26,433,304円

5. 貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 2,606回 市民会館 10,780回	文化会館・学習館及び市民会館の貸館事業。
陶芸窯利用認定講習会 ◇令和3年11月28日(日) ◇スイトピアセンター 学習室3-1、窯場 ◇参加者数 19人	
総費用額	255,902,203円
総収入額	251,137,994円

<収益事業等>

(収1) 公益目的事業以外の貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業以外の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 124回 市民会館 0回	文化会館・学習館及び市民会館の貸館事業。
総費用額	
総収入額	6,772,802円

(収2) 専用駐車場の管理運営事業

事業名	事業内容
スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業 ◇駐車利用台数 113,039台	スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業。
総費用額	
総収入額	26,778,143円

(他1) スイトピア友の会事業

事業名	事業内容
スイトピア友の会事業 ◇会員数 一般会員（185人／216口） 法人会員（29社／31口）	情報誌「スイトピア・ドロップス」を年4回発行し、会員への情報発信を随時行うとともに、会員サービスとして、チケットの先行予約・割引、協力店での特典利用を実施した。
総費用額	2,100,496円
受取入金	864,000円
総収入額	2,766,911円

事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。